

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號四第

卷二第

論說

●雜稅ノ分析及其整理

●奢侈ト貧困

●でぐゐつごひゆゝむノ經濟學說(三)

研究

●不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

●保險ト偶然性

●本多利明ノ經濟說(三)

雜錄

●英國經濟政策ノ變轉期

●貧民ノ體力ニ就イテ

●英國ノ戰爭利得稅

●本邦私出產ノ死産

●歐洲各國ニ於ケル生活費ノ増加ニ對スル防止策

●郷土ノ經濟的研究

●所有權ノ起源

●紙幣ノ下落

●經濟學讀書會記事

●富田博士ヲ悼ム

法學博士 神戸 正雄

法學博士 河上 肇

法學博士 福田 德三

山口高等商業學校教授 作田 莊一

法學士 小島 昌太郎

講師 本庄 榮治郎

助教授 河田 嗣郎

講師 高田 保馬

法學博士 小川 郷太郎

教授 財部 靜治

助教授 山本 美越乃

法學博士 神戸 正雄

講師 本庄 榮治郎

法學博士 河上 肇

講師 高田 保馬

法學博士 織田 萬

紙幣ノ下落

法學博士 河 上 肇

歐洲戰爭ノ結果不換紙幣論ハ時事問題トシテ
世人ノ注意ヲ惹クコトニ爲ツタ。現ニ本論叢ニ
於イテモ、戸田博士ハ前號ノ誌上ニ『不換紙幣ノ

價格ニ就テ」ト題スル論文ヲ公ニセラレ、又作田法學士ハ本號ノ誌上ニ『不換紙幣流通ノ根據ニ就テ』ト題スル論文ヲ公ニサレテ居ル。而シテ更ニ近着、The Quarterly Journal of Economics (Feb, 1916.)ヲ見ルニ、A. C. Whitaker 氏ノ『戰時ニ於ケル通貨ノ下落』ト題スル論文が出テ居ル。

氏ハ紙幣下落ノ程度ヲ知ル標準ハ一樣ナラズト爲シ、(一)金ノ打歩(二)爲替相場ノ下落(三)物價ノ騰貴ノ三者ヲ舉ゲテ居ル。而シテ第一ト第二ノ標準ハ往々同一視セラルルモ、元ト premium on gold proper + inferential premium on gold disclosed in a dislocated foreign exchange トハ之ヲ區別セザル可ラズト論ジタル後、第一ノ金ノ打歩ニ就イテハ、獨佛英ノ三國ヲ通ジテ、今日マデ更ニ斯カル事實ナク、少クトモ氏ノ知レル限リニ於イテハ、是等ノ國々ニ於イテ何等金紙ノ開キヲ生ジ居ラザルノ事實アルノミト述ベ、更ニ爲替相場及ビ一般物價ニ關スル事實ヲ列舉シ、最後ニ主トシテ昨年末ニ於ケル事實ニ

本キ左ノ一表ヲ掲ゲテ居ル。

紙幣下落ノ程度(%)	英	佛	獨	米
金ノ打歩ニテ秤量	—	—	—	—
米國ノ佛ニ對スル外國爲替相場ニテ秤量	二・五	二・五	二〇・九	—
物價ノ騰貴ニテ秤量	三	三	三	三

戸田博士ハ前掲論文ニ於イテ『金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ大トナリ、即チ一般貨物ヨリモ金塊ガ特ニ多ク騰貴スル場合』ニ就イテ議論サレテ居ルガ、余ハ此ノ如キ現象ガ果シテ普通ノ場合デアアルカ否カニ就イテ疑問ヲ有スル者デアル。今茲ニハ其事ヲ詳述スル餘白ナケレドモ、英佛獨ニ於ケル前記ノ事實ノ如キモ偶々余ガ此疑問ヲ強ムルノ材料タルヲ以テ、一應之ヲ載録シ置ク次第デアル。